

北海道大野記念15日オープン

18年夏以降に陽子線治療

国内有数の最新設備

釧路市で釧路孝仁会記念病院などを運営する社会医療法人孝仁会（齋藤孝次理事長）は、西区宮の沢2条1丁目16-1に「北海道大野記念病院」を15日オープンする。院長に大野猛三（心臓血管外科センター北海道大野病院院長）が就任。病床数は276床で、2018年夏以降には陽子線治療を開始する予定だ。



さまざまな分野の最新機器をそろえた

新病院の規模は、7 m。脳神経外科、心臓血管外科、循環器内科、消化器内科・外科、整形外科、呼吸器内科、糖尿病内科、呼吸器センターに加え、カロナール脳神経研究所、デューク大の教授を務める福島孝徳氏が定期的な手術を行う福島孝徳脳腫瘍・頭蓋底センターを設ける。6階はレディーズフロアで、婦人科がんセンターとなる。検査から治療までのあらゆる分野で、現時点で用意できる最新の設備を整えた。北海道初の3テスラ術中MRIを導入し、ナビゲーションシステムと併用して、正確で安全な手術につなげる。手術支援で最新のダヴィンチXi、術中に高精細な透視画像が得られるO-arm等も整備する。画像診断装置として臓器ごとに最適な撮像

が得られる64列PET-CT、最新フラットフォームのIVR-CTを用意。高精細な時間分解能で、4〜5mmの乳がんを発見できる乳房用PETもそろえる。

がん治療の最先端装置として、サイバーナイフ、トモセラピーシステムを備え、陽子線治療装置が18年夏に移動を開始すれば、国内でも有数の放射線治療体制ができる。

今後は、地下鉄東西線宮の沢駅直結の商業施設内で15年にオープンした札幌西孝仁会クリニックが外来機能を担い、新病院は高度急性期に特化。札幌市という地の利と充実した設備を生かし、積極的に医師確保に努め、医師不足が深刻な地域への派遣なども推進していく。